

つないでみよう！ほどいてみよう！

ゲームのポイント

このゲームでは、リーダー以外は話すことができません。音声なしで伝え合う体験をすることで、ふだんあまり意識していない「身振りや表情でのコミュニケーションの大切さ」について気づかせることをねらいとしています。

対象 小学校「中学年」～中学生向き

目的やねらい

・学級全体

手を結び、相手を意識して、ゆっくり動く。

リーダー以外は聞くこと・見ることに集中する。

リーダーはジェスチャーや表情など分かりやすい伝え方を工夫する。

・個別

友だちと協力し、助け合う。

リーダーの指示を最後まで聞いて、理解する。

リーダーになったら、積極的に発言し、友だちに伝える。



ゲームの内容

<ウォーミングアップ>

「なべなべそこぬけ」をする。2人組から、4人、6人と数を増やして行う。

「これからゲームをします。」

つないでみよう：

6～8人のグループになる。

まず1グループを前に移動させ、例を見せる。

グループからリーダーを1名決める。リーダー以外の全員で円になり、手をつなく。

自分の左右となりにいる人とは手をつながない。全員が手を結べたか、確認する。

ほどいてみよう：

まず1グループを前に移動させ、例を見せる。

リーダーのみ、声や、ジェスチャーで指示を出すことができる。

スタートの合図で、手を離さないで、くぐったり、またいだりして

きれいな円に戻していく。手を離したらつなぎなおして行う。

制限時間は
10～15分
程度で

指導者の方へ

ゲームを楽しむために留意すること

環境調整、全体への指導等

- ・広い場所で、静かな環境にして行う。
- ・ウォーミングアップを行い、手を離さないで動く練習をする。
- ・例を見せて、ルールを説明する。
- ・手をつないだ友だちをよく見て、ゆっくり動作する。
- ・ルールをホワイトボードや掲示で表示する。

< ルール >

となりの人とは手をつなげません
ゆっくり動くこと
手をはなさないこと
リーダー以外は話をしない



個別の指導・支援の留意点（個別の観点）

- ・積極的に活動に取り組めたか。あきらめずに協力してゲームを行えたか。
- ・話し手（リーダー）に注目し、理解できたか。
- ・リーダーとして、友だちに分かるように発言できたか。

< 対象生徒の困難さ >

指示や説明の聞きもらしがある。



< 必要な指導や支援 >

顔を向けて、正面から話しかけるようにしましょう。
説明では視覚的な支援の活用を。

指示や説明が分からなくても、分かったふりをしてしまう。



音がきこえていても、言葉が分かっていないことがあります。
「聞こえた？」ではなく、理解できているかを確認しましょう。